

# 太田川放水路事業の経緯

太田川放水路事業は、昭和7年に帝国議会で決定し、昭和9年から改修工事が始まりました。その後、太平洋戦争の激化により工事を中断せざるを得ない時期がありました。この間の昭和18年(台風26号)、昭和20年(枕崎台風)に多数の死者や家屋倒壊など太田川史上最大規模の洪水被害が発生したことなどから、昭和26年から本格的に工事が再開され、昭和39年に大芝水門、昭和40年に祇園水門がそれぞれ完成し、昭和40年に放水路通水式を終え、昭和42年に太田川放水路が竣工しました。

